

ピアニスト仲道郁代さんより「涙のあとに」

今、新型コロナのために世の中がこれまでと変わってしまいました。これまでの「普通」が、普通ではなくなってしまいました。私は、コンサートホールで演奏するピアニストという仕事なのですが、もうずっとコンサートがありません。前のようにコンサートができるのがいつになるかもわからない状況です。なんだか、とてもヘンテコな毎日です。少し辛くて、ちょっと涙も出てきます。

そう。涙です。これまでも、いろんな時に涙は出ていました。悲しい時、悔しい時。落ち込む時。そんな時は泣いてしまうのですが、泣くと、なぜかそのあと、ちょっとだけ元気になります。なぜでしょう、不思議です。

実は、音楽にも似たような作用があります。私は音楽の中に、綺麗な部分、美しい部分を見つけると、悲しくなくても涙が出てきたりします。そして、涙を流したあとには、気持ちがスッキリする。何か、ストンと、心が落ち着くような気持ちになります。新しい感覚を持つことができるような気持ちになります。これ、音楽の不思議な作用だと思います。

楽しい曲、悲しい曲、綺麗な曲。いろいろな曲がありますが、音楽で、心が、気持ちが動きます。心や気持ちが動かされると、ふっと涙が出てきてしまうのかもしれない。その涙は、とても大切な涙です。涙のあとに、新しい何かを見つけられるような気がするから。そんな涙もあることを、皆さんにも知ってもらいたいと思います。皆さんも、ちょっぴり涙のあとに、新しい何かを見つけることができますように。



©N.Ikegami

仲道さんは、5月に小児がん支援の「子どもの夢チャリティーコンサート2020」（サントリーホール：新型コロナウイルスの影響で中止）へご出演予定でした。これまでもさまざまな活動で小児がんの子どもたちをご支援くださっています。



©Kiyotaka Saito

～ 仲道 郁代さん Profile ～

人気、実力ともに日本を代表するピアニスト。桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。ジュネーヴ国際音楽コンクール、メンデルスゾーン・コンクール、エリザベト王妃国際音楽コンクールなど数々のコンクールで優勝・入賞を重ねる。これまでに国内はもとより海外の著名なオーケストラと多数共演。

CDはソニー・ミュージックジャパンと専属契約を結び、多数リリース。

著書には『ピアニストはおもしろい』（春秋社）等がある。

2018年よりベートーヴェン没後200周年と自身の演奏活動40周年とが重なる2027年に向けて「Road to 2027」と題するコンサートシリーズをスタート。

また、一般社団法人「音楽がヒラク未来」の代表理事を務め、音楽と社会を結ぶ活動も行っている。一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

仲道郁代オフィシャル・ホームページ

<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

♥仲道郁代オフィシャル・ホームページ
QRコード

